

## 令和6年度 学校説明会 開催

中学生とその保護者を対象にした学校説明会を8月7日と同27日の2日間にわたって開催したところ、昨年度より43名増の570名の参加がありました。今回は、特に香取地区からの参加者が増えています。

当日は、本校生徒が案内役を務め、学校の教育内容等について、プレゼンテーションを行いました。

無事務めを果たした3年生の内田さんは、その感想を次のように語っています



中学生に本校の良さをきちんと伝えられたこと、そしてChromebookを使いこなしてプレゼンをスムーズにこなせるようになったことなど、今回の学校説明会は私にとって大きな成長の機会となりました。緊張した場面もありましたが、中学生の前で話す貴重な経験ができて本当に良かったと思っています。また、Chromebookの便利さに改めて気づかされたので、今まで以上に積極的に活用していきたいと考えています。



Web報告



毎年、好成績を収めている男子バレーボール部が今夏も様々な大会で活躍しました。酷暑に見舞われた夏休み中に、部員は多くの大会に出場し、経験を積んできました。

### 【主な戦績】

- |                              |               |
|------------------------------|---------------|
| 1. 第28回 七夕杯争奪バレーボール大会 (平塚市)  | 第4位 (16チーム参加) |
| 2. 千葉県私立高等学校男女バレーボール選手権大会    | 第3位 (22チーム参加) |
| 3. 令和6年度浦安近隣大会               | 第3位 (24チーム参加) |
| 4. 第34回 令和6年度成田Championships | 第3位 (29チーム参加) |

### ○ 新キャプテン 古家絢斗君 (2年生) の談話

今回の敗戦は、自分にとって大きな成長の機会となりました。

特に、チームをまとめる難しさや、コミュニケーションの大切さを痛感しました。

今後は、キャプテンとしてチームを引っ張り、後輩たちを指導していくとともに、自分自身もプレーヤーとして成長したいと思っています。

春高2次では、学館船橋や習志野といった強豪校を倒し、チームのレベルアップに貢献したいです。そのためには、日々の練習をひとつひとつ積み重ねていくことが大切だと考えています。



# バレーボール部 今夏も大活躍



# 紫苑祭

# 光彩奪目

今年のテーマは



9月6日(金)、7日(土)の二日間にわたり本校文化祭「紫苑祭」を開催しました。特に、2日目は一般公開ということもあり、多くのお客さんと賑わいました。文化祭の主役である書道部、美術部等文化部の発表をはじめとして、集団の力を遺憾なく発揮した各クラスの発表など、いずれの発表も様々な工夫が凝らされていて、来場者を楽しませていました。

例えば、ジェットコースターやメリーゴーランドなど遊園地系の乗り物、ガールズバンドによるお父さん・お母さん世代のヒットソングの迫力ある演奏、保育園児を招いての人形劇など、もちろん美味しい出店(屋台)や喫茶コーナーなども充実していました。

文化祭のフィナーレでは、生徒のお囃子の演奏に乗って手作りのお神輿を皆で担いで盛り上がりました。



今回の文化祭実行委員長を務めた伊藤渉君(左)は、リーダーとしての経験が初めてということもあり、クラスだけでなく、文化祭全体をまとめ上げる大変さを実感している様子でした。特に、実行委員の出し物であるお囃子も担当しており、多忙な日々を送っているとのことでした。しかし、その一方で、リーダーとしてのやりがいも感じていると語っていました。

伊藤君は、文化祭を成功させたいという強い思いを持ちながらも、「お客さんや先生たちが少しでも楽しんでもらえれば」と、来場者への感謝の気持ちを忘れていませんでした。文化祭のテーマ「光彩奪目」について、「すべての出し物が輝き、来場者の方々の目を奪うような文化祭にしたい」と、その想いを語ってくれた伊藤君の熱い思いが詰まった文化祭になりました。

## 通信制 2年次生 が

## ロゴ 発案



通信制課程の生徒を対象に同課程に相応しいロゴマークを募集したところ、素敵なデザイン案(右)が寄せられました。提案してくれたのは、2年次生の北岡由梨奈さんです。(左)「ふたばのマークは子どもたちを育む通信制のイメージで作りました。帯の7色は個性を大切にというイメージで作りました。」と語っています。



通信制では、昨年度「通信制課程開設10周年」を記念したロゴを募集したのですが、その際も2年次生(当時)のSさんから素晴らしいデザインが提案されました。(右)多様な生徒が学んでいる通信制課程では、素晴らしい才能が隠れている生徒が多数います。卒業生の中にも、進学した大学の学科において首席を修めている生徒が2名います。高校時代に「自ら学ぶ力」をしっかりと身に付けた生徒たちが、このような形で活躍しているのは嬉しい限りです。

